USB ビデオ＆オーディオキャプチャーユニット

「*XSPEED-F1*」

取扱説明書

はじめに

- USB ビデオ＆オーディオキャプチャーユニット「***XSPEED-F1***」は、サウンドカード不要でビデオ信号と音声信号を同時にキャプチャできてしまう、USB2.0 キャプチャーユニットです。USB 接続ですので接続も簡単ですし、バスパワー駆動で体以外の電源を必要としません。外出先のノートパソコンでも使うことができます。また、簡単操作で、プロレベルの機能を備えたビデオ編集ソフト「Ulead VideoStudio 11 SE DVD」（日本語版）が標準添付していますので、お買い上げいただいたその日から、誰にでも手軽で高品質な動画作成ができます。

主な機能

- 簡単操作で、プロレベルの機能を備えたビデオ編集ソフト「Ulead VideoStudio 11 SE DVD」が標準添付しています。
- USB 2.0 バスパワー駆動で、他に電源を必要としません。
- ビデオ信号とオーディオ信号を同時に USB 2.0 でキャプチャできます。
- 輝度、色合い、コントラスそして彩度の調節機能付き。
- 手のひらに収まる持ち運びやすいサイズ。
- サウンドカード不要で音声入力が可能です。
- プラグ＆プレイですから電源を気にすることなく簡単に抜き差しできます。
- DVD+/-R/RW, DVD+/-VR, and DVD-Video などのフォーマットに対応。
- ビデオカメラを Web カメラ用に使用するインターフェースとしても使用可能。

仕様

- USB2.0 準拠
- NTSC/ PAL 対応
- ビデオ入力: RCA コンポジット×1, S 端子×1.
- オーディオ入力: RCA ステレオ
- サイズ: (L)88mm×(W)28mm×(H)18mm
- USB バスパワー駆動
- 高解像度対応

  NTSC: 720×480 @ 30fps

  PAL: 720×576 @ 25fps

必要なシステム構成

- **USB:** USB 2.0 端子
- **OS:** Windows 2000/XP/Vista
- **CPU:** Pentium III 800MHz 以上
- ハードディスク**:** 600ＭＢ（プログラムインストールに必要な空き容量）,4 GB 以上（ビ

デオ編集に必要な空き容量）

- メモリー**:** 256MB 以上
- ディスプレイ**:** 1024×768 以上、16-bit カラー以上（フルカラー推奨）
- サウンドカード**:** サウンドブラスター互換カード以上

同梱品リスト

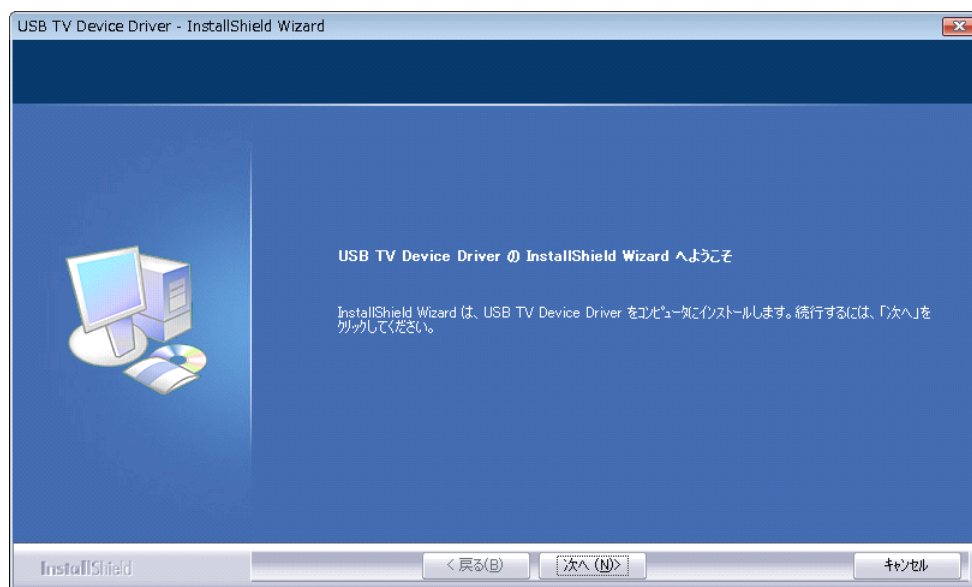
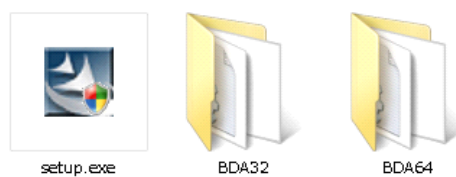
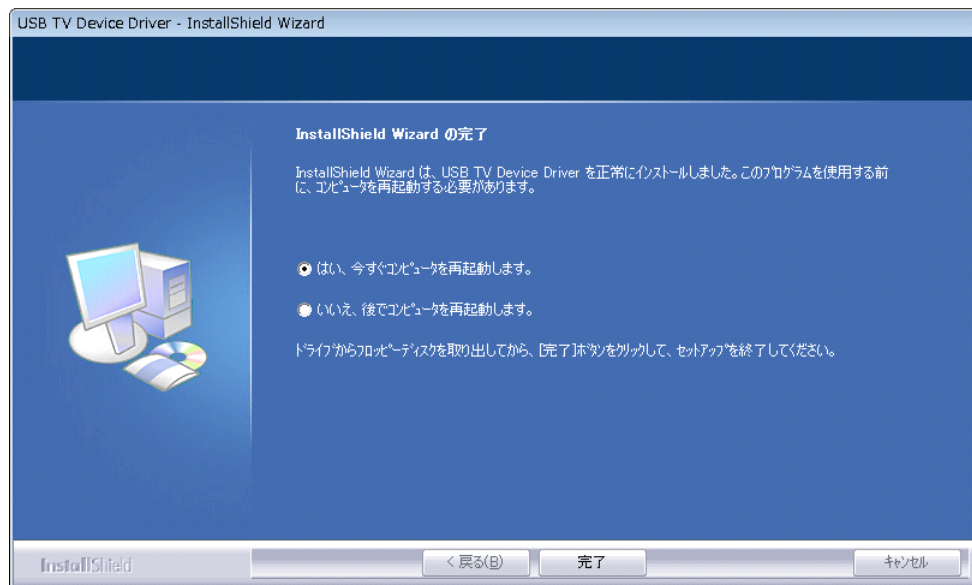
- USB ビデオ＆オーディオキャプチャーユニット「***XSPEED-F1***」本体
- USB 延長ケーブル(0.8m)
- 説明書
- CD-ROM (ドライバー用×１ Ulead VideoStudio×１)

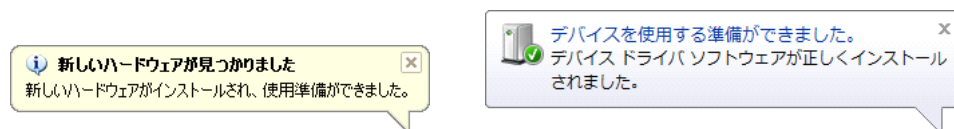
注意事項

- 当商品はワイド信号は非対応です。
- 当商品は、64bit版OS(XP/Vista)には対応していません。
- 速度の遅い古いパソコンなどでは､エンコードの際にコマ落ちなどの不具合が生じる場合があります。購入前には「必要なシステム構成」(特にCPU とクロックスピードとメモリ容量)の表をご確認ください。当商品を Windows Vista搭載パソコンで使用された場合や、大手メーカー製PCでご使用の場合には、プリインストールされている他のソフトなどとの影響で、ソフトの動作が不安定になったり起動しなくなったりする場合があります。
- Mac OS XのBootCamp上のWindows XP/Vista等での動作は保証いたしません。
- S端子入力とRCAビデオ入力は同時に使用できません。どちらか一方を使用して下さい。
- 市販のHDD/DVDレコーダーとは、レコーダー側の外部出力端子を介することで接続できますが、一部の機種と相性問題が生じる場合があります。
- 1台のパソコンで2つ以上のUSB機器を接続をした場合、同時にお使いになるUSB機器によっては、動作を保証いたしません。
- USBハブなどを経由して接続している場合は、動作を保証いたしません。
- USB対応の拡張ボードをPCIスロットまたは、PCMCIAスロットに増設した場合は、動作を保証いたしません。
- お客様のお使いの環境やPCの構成によっては、正常に動作しない場合がございます。予めご了承ください。

ドライバーのインストール手順

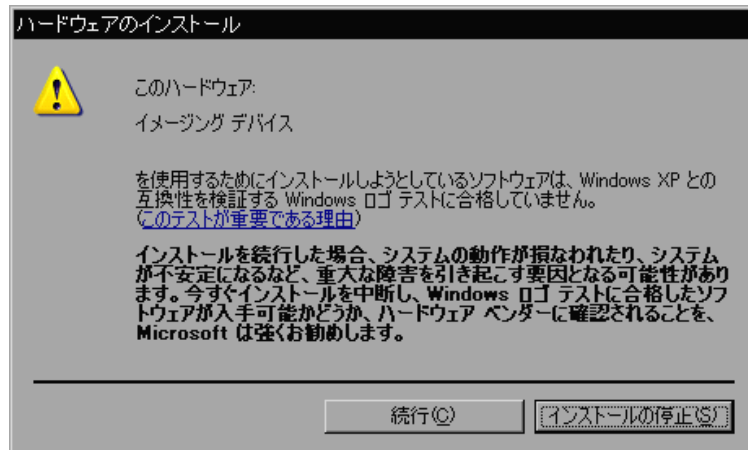
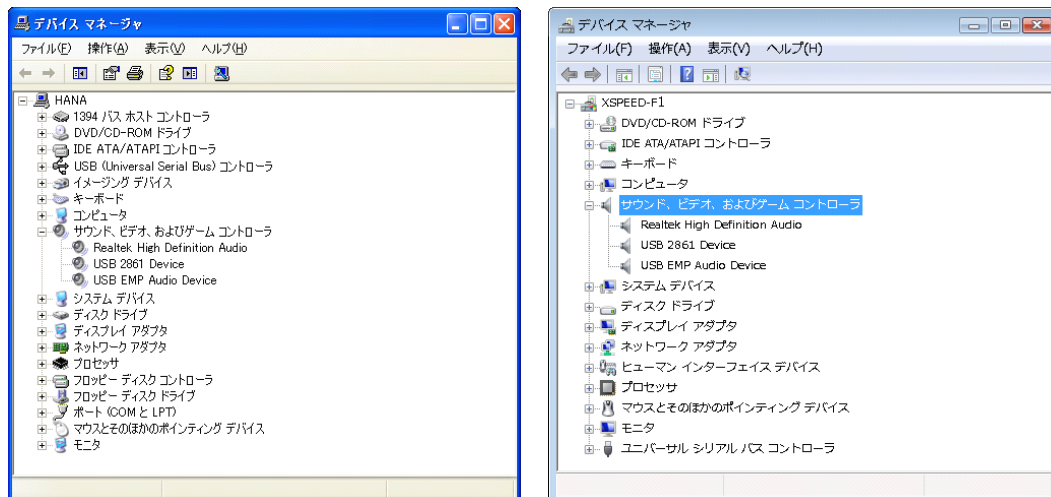
Note: もしセキュリティソフトをインストールされている場合は､インストール時にいったん終了してから作業を行なってください。また、ドライバーのインストールを行う前に「***XSPEED-F1***」を接続しないでください。

USB ビデオ＆オーディオキャプチャーユニット「***XSPEED-F1***」を接続する前に添付の「ドライバー CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。その後 CD-ROM の中に入っている「setup.exe」を起動してください。

インストーラが起動し、ドライバーのインストールが開始されます。

インストール終了後再起動を要求されますので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックを入れ「完了」を押してください。するとコンピュータが再起動され、インストールが完了します。**※編集中・起動中のアプリケーションがある場合は、保存･終了をあらかじめ行ってから再起動を行ってください。**

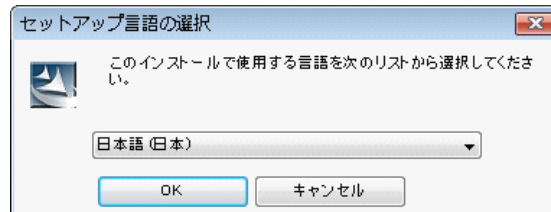
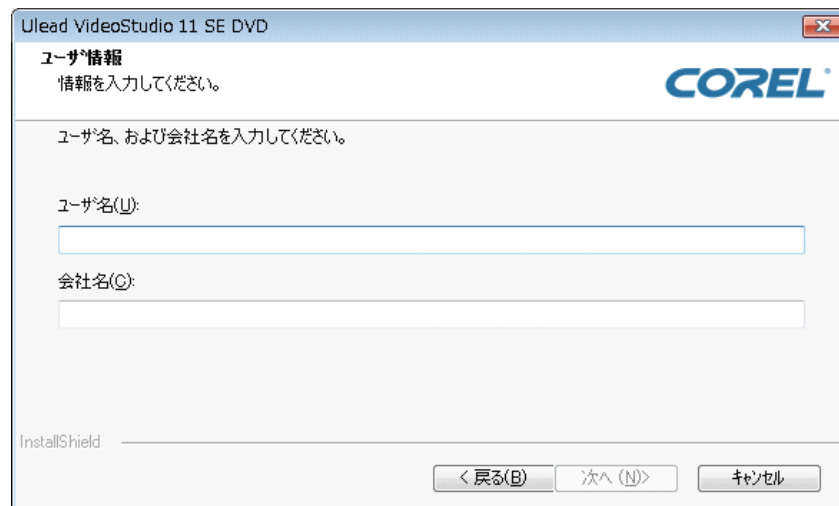
次に、お使いのマシンと「***XSPEED-F1***」を接続してください。自動的にドライバのインストールが開始されます。

画面右下に、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備が出来ました」又は「デバイスを使用する準備ができました。」というメッセージが表示されればインストール完了です。

※「VideoStudio」で認識されない・エラーが出る・録画できないなどの症状が出た場合下記の方法をお試しください。

まず始めに、本品以外の USB 機器をコンピュータから取り外してください。次に「スタートボタン」→「コンピュータ」を右クリックを押し「管理」を選択し、左側の欄の「デバイスマネージャ」を選択します。「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」をクリックして開きます。「USB オーディオデバイス」を右クリックし「ドライバソフトウェアの更新」を押します。

ドライバ更新ウィンドウが表示されますので「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」を選択し、ドライバ CD 内のフォルダ「BDA32」を参照し「次へ」を押します。ドライバが更新され、「USB EMP Audio Device」と表示されれば完了です。

ドライバインストール時に、上記のようなダイアログで「Windows ロゴテストに合格していません」と警告が出る可能性がございますが、問題はありませんので、**そのまま「続行」ボタンをクリックし、インストールを続けてください。**このことが原因で、システムの動作が損なわれたり、不安定になることはございません。
インストールが終わりましたら、「デバイスマネージャ」で正常にインストールされたか確認しください。

「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」をクリックして、その中に「USB 2865 Device」「USB EMP Audio Device」というデバイスが表示されていればインストール成功です。もし表示されていなかったり、表示されていてもすぐ脇に「!」のアイコンが表示されている場合は、パソコン本体から「***XSPEED-F1***」をいったん取り外して、再度上記のインストール作業を繰り返してください。(「!」ではなく「#2」や「#3」とついている場合は、問題がありません)

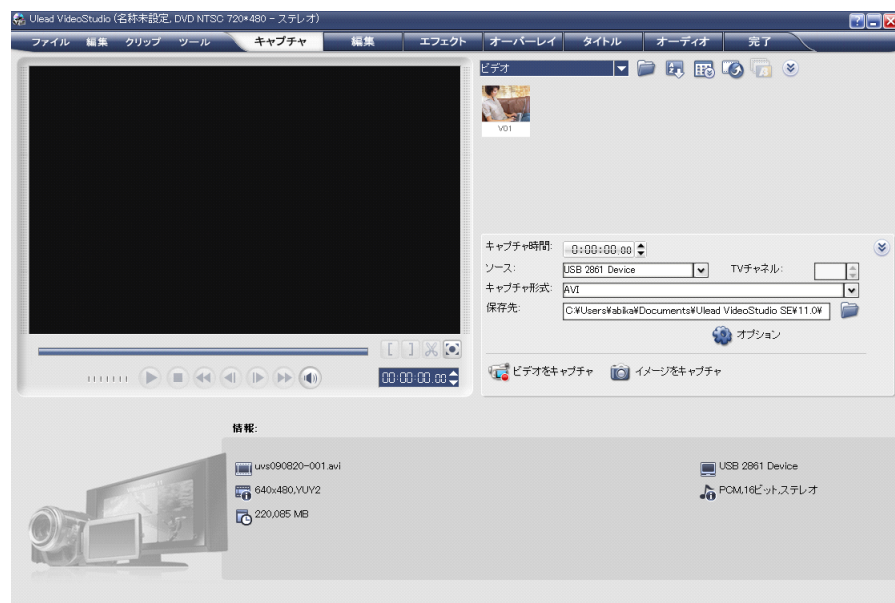
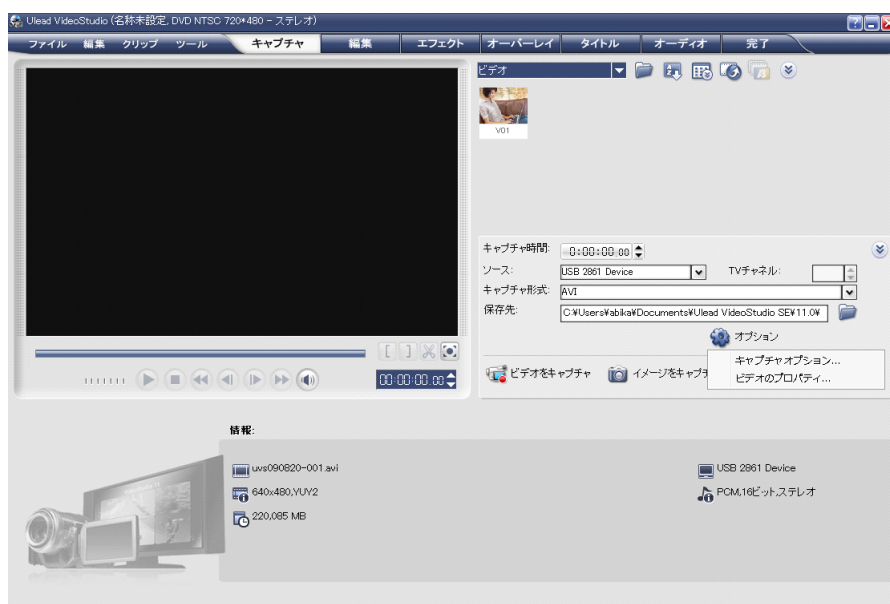
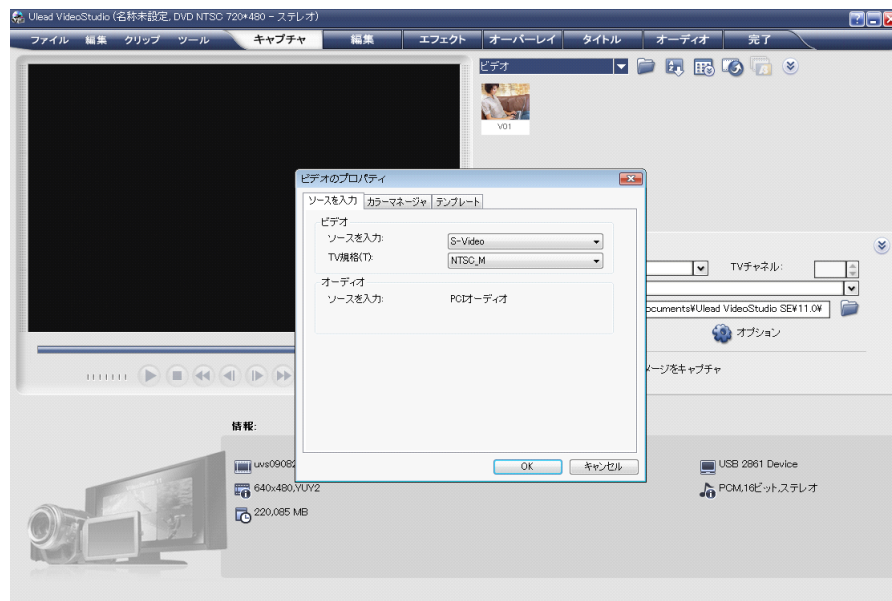
ソフトウェアのインストール

次はソフトウェアのインストールです。添付の 「Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入してください。

自動起動でメニュー画面が表示されますので「日本語（日本)」を選択し、「ok」をクリックしてインストールを開始してください。※自動起動を有効にしていない場合は直接インストーラを起動してください。

インストール中に使用者と会社名を記入します。メーカー等に通知するものではございませんので、お好きなものをご記入ください。

インストールが終了した後必ず、再起動を行ってください。

もしうまく映らない場合は？

「***XSPEED-F1***」を接続してアプリケーションを起動しても、画像がうまく表示されない場合があります、その場合は以下の手順を試してみてください。

1. 「キャプチャー」パネルを表示して「オプション」ボタンをクリックしてください。

2. メニューが表示されますので、「ビデオのプロパティ」をクリックします。

3. 「ソースを入力」のタブをクリックして ソースを入力のプルダウンから、映像を入力している入力端子を選択します。

4, そして映像方式を「PAL」「NTSC」から選択します。日本では一般的に NTSC になります。

「Ulead VideoStudio」の操作方法の詳細については、インストール時に一緒にインストールされている PDF ファイルのマニュアルを参照してください。(スタート → プログラム → Ulead VideoStudio 11 SE DVD → ユーザーマニュアル)PDF ファイルを開くには Adobe Reader が必要です。

「ユーリード・ビデオスタジオ」について

1. 「ユーリード・ビデオスタジオ」について。

「ユーリード・ビデオスタジオ」は 一般家庭用のビデオ編集ソフトで、どんなユーザーにでも手軽に高品質な動画を作成することが可能です。他のソフトと異なり当ソフトは対話型インターフェース「おまかせモード」を搭載していますので、画面のメッセージにビデオクリップやイメージを組み合わせたり、BGM やタイトルを追加したりした後、最終ムービーをビデオファイルとして出力したり、ディスクに書き込むことができます。また、VideoStudio Editor でムービーの編集を続けることも可能です。

2. 「ユーリード・ビデオスタジオ」のインストール方法

「ユーリード・ビデオスタジオ」と関連のドライバーをインストールするには、まず「ユーリード・ビデオスタジオ」の CD-ROM をパソコンの CD/DVD ドライブにセットして、画面のメッセージに従うことで可能です。
マイクロソフトの「DirectX」は、 マイクロソフトが公開しているビデオファイルの再生能力を向上させるプログラムですのでインストールを推奨します。ですが、正常に

WindowsUpdate している WindowsXP 以降のマシンでしたら「ユーリード・ビデオスタジオ」のインストール時に、すでにインストールされているバージョンを判別した上で自動でインストールされますので、特に気にすることはありません。
Microsoft Windows Media Format はWMV ファイルなどのストリーミングファイルを作成する場合に必要なプログラムです。これも正常に WindowsUpdate している WindowsXP 以降のマシンでしたらインストール時に、バージョンを判別した上で自動でインストールされますので、特に気にすることはありません。

注意: もし、お使いのマシンに「ユーリード・ビデオスタジオ」の以前のバージョンがインストールされていた場合、いったん「プログラムの追加と削除」から削除した後に、改めて新バージョンをインストールされることを推奨します。その際には、インストーラーが接続しているキャプチャーデバイスのプラグインやコーデック類 (MPEG-4, AC-3, 3GP, DivX)の設定を以前のバージョンから引き継いでインストールを行ないますので、ご安心ください。
もし以前のバージョンの削除を行なわずに上書きインストールした場合、両方のバージョンで共通に使うフォントとプログラムが削除されます。その場合、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」にて「変更と削除」をクリックし、「修復」を行なってください。